



特別支援学校	生活科	小学校 6年
--------	-----	--------

## 知的障害特別支援学校小学部でのキャリア教育 落ち葉そうじ

### 【地域社会に貢献するお手伝い】

小学部児童は、発達段階はおおむね 3 歳程度まで ADL も不十分な児童生徒も多い。知的障害特別支援学校の小学部では、生活科の掃除学習として、箒とちりどりの使い方を学習する時、教室にちぎって丸めた新聞紙やシュレッダー紙をまき、箒とちりどりで集めるが、学校にある箒は主にじざい箒で、学校以外でじざい箒を使う場面はあまりない。また、一般家庭で箒を使うこと自体も少なくなっている。事前に教室で新聞紙を箒で集める練習した後、落ち葉を箒で掃除する学習を行った。箒は、体の大きさや巧緻性を考え、竹箒、庭箒、火ばさみ、箕も用意した。見本を見せ、はじめは、児童に合うと思われる道具で行い、時々道具を選ばせるなどして行った。箕に集めること、箕からビニール袋に移す時は 2 人で協力し加減することが必要で、それらの作業を通し、子ども同士の相互作用を意図的に設定することができる。

特別支援学校に桜の木が校門近くに植えてあることが多い。近隣住宅前の道路や空き地などに葉が落ちてしまうこともある。近隣の校外歩行でよく訪れる公園もある。そのようなところで、小学部の児童が落ち葉の掃除を行うと、近隣の方々に学習の様子を見ていただくことができるので、近隣の方の学校への理解も深まり、言葉をかけていただくこともあった。家庭でも、玄関周りの掃除や地域のクリーン清掃日でこの活動の成果を生かすことができる可能性もある。